

## 第14回高石市子ども・子育て会議概要

■日時：令和8年3月12日（木） 午前10時00分～

■場所：高石市役所本館2階 会議室202

### ■出席者

#### [委員]

畠中委員、中西委員、清水委員、太田委員、土師委員、森本委員、中谷委員、山崎委員、隈元委員、西村委員、村井委員、村上委員

#### [事務局]

石坂教育部長、山本参与兼教育部理事、家村こども未来室長、乾こども家庭課長、米山子育て支援課長、吉村教育総務課長、沼守教育部次長兼社会教育課長、菅原学校教育課長、池側高齢・障がい福祉課長、奥野子育て支援課長代理兼保育幼稚園係長、橋本こども家庭課長代理、山田こども家庭課児童福祉係長

### ■会議次第

1. 事務局挨拶
2. 会長挨拶
3. 案件
  - (1) 「第3期高石市子ども・子育て支援事業計画」の変更について
  - (2) 乳児等通園支援事業に係る事業者認可に関する意見聴取について
  - (3) こどもの意見表明について
  - (4) その他

### ■配布資料

- |     |                            |
|-----|----------------------------|
| 資料1 | 次第                         |
| 資料2 | 第3期高石市子ども・子育て支援事業計画の変更点一覧表 |
| 資料3 | 乳児等通園支援事業 認可・確認申請内容        |
| 資料4 | こどもの意見表明について               |

### ■会議概要

1. 出席委員  
委員15名中12名の出席  
傍聴希望者 無し

## 2. 案件

### (1) 「第3期高石市子ども・子育て支援事業計画」の変更について・・・資料2に基づき、事務局説明

畠中会長：ご意見ございますでしょうか。

委員：保育所保育指針に準じて保育をすることになっていると思いますが、小規模保育に関しても指針をうまく活用することで、その次の施設へと連携しやすくなると思います。また、指針等に沿った保育を展開していくことで、監査や国の補助金の申請のしやすさ等にも繋がると思います。

畠中会長：他にご意見ございますでしょうか。

委員：ルミナス保育園が開園ということですが、令和8年度の19人はルミナス保育園の人数で、令和9年度に小規模保育がもう1園開園する予定ということでしょうか。

事務局：はい、その予定です。

委員：ルミナス保育園はどこに開園するのでしょうか。

事務局：ルミナス保育園は、高石市立総合保健センター内となっており、現在は工事も終了し、4月から開園予定です。

委員：ルミナス保育園は2歳まで通い、3歳からは新たな保育園に通うことになると思いますが、園同士の連携というのはあるのでしょうか。

事務局：市としては、小規模保育所の卒園後に入れる連携施設を設けるように条件を付しており、今回のルミナス保育園は南海福祉事業会に運営していただくこととなりますので、南海福祉事業会は羽衣保育園と東羽衣こども園、南海愛児園を運営していることから、小規模保育所の卒園後は、連携施設へ優先的に入園できるよう調整をさせていただきます。

畠中会長：他にございませんか。ないようでしたら、次の議題に進みます。

### (2) 乳児等通園支援事業に係る事業者認可に関する意見聴取について・・・資料3に基づき、事務局説明

畠中会長：ご意見ございますでしょうか。

委員：この事業を利用することについては、月10時間くらいの利用の新しいところに連れてこられて泣くことになると思います。在園児と合同という形になった場合は、他の子にも伝染してしまい、大変なことになる可能性があります。そのため、専従職員をいかに充実させておくが必要となります。専従職員も勤務を始めてすぐの職員ではなく、経験のある職員が必要と思いますので、そのあたりを監査の際に確認していただくのが良いのではないかと思います。

事務局：委員のご指摘のとおり、各園でもベテランの保育士が業務をしないといけないということで不安になっている園はございます。なかなか難しいところではございます

が、どの園もベテランの保育士を充てる形で進めていくと確認できております。また、各園とも予約管理ができるシステムの導入を予定しております、そのシステムの操作も難しいところがあるため、担当者会議などで適宜情報共有をさせていただき、事業実施するにあたっての不安感をできるだけ取り除いていきたいと考えています。

**委員：**現在、高石市のすこやか見守りサポーターやファミリー・サポート事業にも参加させていただいていますが、乳児等通園支援事業のことを知っている方もいれば、全く知らないという方もいます。この事業は4月から始まるということですが、各ご家庭に積極的にお知らせしていいのでしょうか。

**事務局：**お知らせに関しては、市の広報誌の2月号に掲載をさせていただいており、3月号にも改めて掲載させていただきました。また、利用にあたっての認定申請の手続きの流れについても市のホームページへ掲載させていただいているところですので、各ご家庭にも勧めていただければと思います。

**委員：**綾園保育所子育て支援センターの保育面積は少ないように思いますが、合っていますか。

**事務局：**綾園保育所子育て支援センターは在園児合同型ということもあり、各年齢1人ずつの定員で面積は算出させていただいています。

**委員：**取石認定こども園は火曜日と金曜日で限定されていますが、専従職員の方もその曜日で確保されているということでしょうか。

**事務局：**取石認定こども園に関しては、現在火曜日と金曜日に2歳児のプレ保育の事業を実施されており、その事業の延長で本事業も実施予定と聞いておりますので、専従職員も確保できています。

**委員：**本事業を利用できるのは誕生日からでしょうか。

**事務局：**0歳児に関しては6か月から利用できることになり、3歳の誕生日の前々日まで利用できます。

**委員：**取石認定こども園ですが、その他費用として860円かかるとのことですが、これは1回の利用であっても費用は必要でしょうか。

**事務局：**取石認定こども園に関しては、定期利用という形で事業を実施し、基本的には継続してご利用いただく利用形態と予定しております。

**委員：**定期利用者のみで限定されるということでしょうか。もし定員が埋まってしまった場合は、高石市で利用できるのは3園のみになるということでしょうか。

**事務局：**定員が埋まってしまった場合は、他の園をご利用いただくか、この制度自体が全国的な制度ですので、他市の施設をご利用いただくこととなります。

**委員：**この事業を利用した方が3歳となって年少になる際に、優遇して入園できるようなことはありますか。

**事務局：**プレ保育を利用していた方は、そのまま幼稚園部に入園される方が多いとは聞いておりますが、この事業を利用していたから入園しやすくなるということとはござい

せん。

**畠中会長**：他にございませんか。ないようでしたら、次の議題に進みます。

### (3) こどもの意見表明について・・・資料4に基づき、事務局説明

**畠中会長**：ご意見ございますでしょうか。

**委員**：今後高石市において、「こどもの意見表明」を積極的に取り組んでいくのであれば、資料のステップ3のこどもの意見表明および政策反映の仕組みの構築というのは、もう少し早く作る必要があるのではないのでしょうか。

**事務局**：こどもの意見表明については、市としても今後取り組んでいく姿勢を示すため、子ども・子育て支援事業計画にこどもの意見表明を記載させていただきました。国の方でもまだ取組が始まったばかりで、高石市としてもどういう取組が効果的なのかということを検討しており、委員の皆様のご意見をいただきながら、仕組みを構築していきたいと考えています。また、委員からご指摘のあったとおり、いつまでにどういう形を作っていくのかということについては、示していくべきであると考えています。

**委員**：意見を聞くだけではなく、「この意見は実現できる」や「予算がかかるため実施できない」等、フィードバックをすることが必要ではないのでしょうか。

**事務局**：昨年末から、高石の小中学校において学校創生基本構想を進めており、全児童生徒とその保護者、保育所に通うお子様がいらっしゃる方等、広くアンケートを実施させていただきました。今後、学校関係者や有識者の方々を入れた検討の場で、アンケートでいただいた意見を吸い上げて議論をしていく予定です。現在は、こどもを対象に意見を拾い上げる場が少なく、市に意見を出せる提案箱などは実施していますが、大人からいただいた意見に対するフィードバックしかできていないのが現状です。こどもの意見に対して、市の意見をフィードバックしていくことは、今後取り組んでいくべきだと考えていますので、そういった仕組みの構築が早期にできないかということも含めて検討していきたいと思えます。

**委員**：他市の自治体の事例をみていて良いなと思うのは、学校教育機関をまきこんでいるということです。高石市でも教育委員会の中にこども未来部ができるということは、すごく良いことだと思います。例えば他市では、学校の授業の中で自分たちが住む町の課題を話し合い、市長の前で発表会をするという事例があります。そうすることで、こどもたちにとっても達成感があると思います。また、積極的に意見を言える子もいれば、自分が言ったとは分からないように匿名で意見を言いたい子もいると思うので、インターネットなどの端末を利用するのも良いと思います。まずは、学校等に声をかけて、展開をしていただけたらと思います。

**事務局**：この会議でいただいた意見なども踏まえ、周知を進めていきたいと考えております。

**委員**：高石市の現在の取組事例をみると、学校等の教育分野に偏っていると思うので、

もっと高石市全体で取り組んでいってもらえると良いと思います。

**委員**：資料に記載されている中だと、二十歳の集いについては、若者が企画運営してとても良い式典になってきていると感じます。また、先日こどもが、ごみ収集車のラッピングデザインを募集するチラシを持って帰ってきました。市の取組にこどもが参加し、出来上がったものが街を走ったりすること等も、とても良いと思います。

**事務局**：こどもの意見表明とは、こどもが社会参加していくということも含まれていると考えていますので、今後もいただいたご意見を踏まえて取り組んでまいります。

**委員**：こどもの事はこどもに聴くのが一番ということで、アンケートをする際にも、アンケートを作る段階からこどもに関わってもらいたいと思います。また、この子ども・子育て会議にこどもの意見があがってくるような仕組みにすると、市としてもこどもの意見を聴いているという姿勢になるのではないのでしょうか。

**事務局**：アンケートの取り方等も含めて、委員にいただいたご意見を踏まえ、検討していきたいと思います。次年度は学校創生基本構想を策定していく中でこどもだけを対象としたワークショップの実施も予定していますので、そのあたりの視点も踏まえて取り組んでまいります。

**畠中会長**：行政にとっても今までやってきたやり方や形もあると思いますが、こういう時代ですので、どんどん形を変えながら柔軟に対応していただけたらと思います。

#### (4) その他

**畠中会長**：その他の案件として何かございますでしょうか。

**事務局**：2月26日から開催しておりました議会が終了しまして、こども食堂等を支援するこどもの居場所づくり事業や保育施設での紙おむつの無償化、小規模保育事業、取石地区での初めての子育て支援センターの設置等の予算を承認いただきました。取石地区での子育て支援センターの設置は、子ども・子育て会議でいただいたご意見を受けて実現することができましたので、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

**畠中会長**：以上で、本日の案件は終了ということになります。

他にございませんか。特にご発言がなければ、ここで閉じたいと思います。

それでは、本日の会議はこれをもって終了とさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、会議進行にご協力いただきありがとうございます。